

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 8 月 28 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2170200345		
法人名	医療法人 香徳会		
事業所名	グループホーム あさひ		
所在地	関市美和町3番地 (電話) 0575-23-8280		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月17日	評価確定日	平成19年9月14日

【情報提供票より】 (平成 19 年 7 月 15 日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 11 年 5 月 19 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	6 人	常勤 1 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	5 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	39,930~ 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

### (4) 利用者の概要 (平成 19 年 8 月 17 日 現在)

利用者人数	6 名	男性 0 名	女性 6 名
要介護 1	名	要介護 2	1 名
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名
要介護 5	名	要支援 2	名
年齢	平均 87.5 歳	最低 72 歳	最高 95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	関中央病院
---------	-------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市中心部、商店街に近い住宅地の民家改造型ホームは、看板があつてはじめてそうと分る様な一般住宅の静かなたたずまいである。関市内に母体法人経営の病院があり、そこから車で10分程度の距離にあるホームは、医療連携がうまく機能しながらもホームを単独で地域に根付かせる適度な距離や環境にある。重要文化財が多い新長谷寺(吉田観音)は利用者のいつもの散歩コースであり、郊外型ショッピングモールの進出で中心市街地として活性化が待たれる商店街等の地域の人たちとの交流も懐かしい昔風のものがある。隔年に海外旅行、休憩時間には別室でリフレッシュという職場環境で職員の離職はなく、利用者は尚更の待遇の生活である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価による改善課題なし。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価・外部評価項目については全員会議で話し合い、改善点はチェックリストを作ってチェックし、サービスの質的向上に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議にはホームの隣人も出席して、年間行事の発表をし、防災避難訓練に参加してもらい改善点のアドバイスを受け、ホームでのヒヤリハット・事故報告をし、外部評価の結果などについて話し合われている。施設長は市からの依頼による認知症サポーター研修の講師を務めており、地域の婦人会・老人会での認知症に対する啓蒙講座の講師も務めている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	利用者家族には電話や来所時の状況報告の他に、「ゆったり」通信の発行もある。家族の意見は日頃の面会時や苦情箱・運営推進会議・外部苦情窓口の他に、法人独自に家族アンケート調査を毎年行って顧客満足度の把握に努めている。利用者本人に対しても市派遣の介護相談員が来所して相談活動をしており、サービス向上のために極めて透明性の高い取り組みがなされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	施設長は地域の婦人会や老人会で認知症に関する講演会講師を務めている。利用者は町内会や地域の行事には参加し、近隣の美容院・洋品店・菓子屋などでは常連客として交流しており、近隣の新長谷寺(吉田観音)はいつもの散歩コースである。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりの個性を尊重し、その人らしい日常生活が送れるようケアを行います」と分かりやすく親しみやすい理念である。地域密着型サービスとしての意味合いを加味する検討をいっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は毎朝理念を唱和して理念の徹底と共有を図り、毎日の介護で実践している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設長は地域の婦人会や老人会で認知症に関する講演会講師を務めている。利用者は町内会や地域の行事にも参加し、近隣の美容院・洋品店・菓子屋や商店街の常連客でもある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価項目について全員会議で話し合い、改善点はチェックリストを作成しそれに基づいてチェックし、サービスの質的向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議にはホームの隣人も出席して、年間行事の発表をし、防災避難訓練に参加してもらい改善点のアドバイスを受け、ホームでのヒヤリハット・事故報告をし、外部評価の結果などについて話し合われている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は市からの依頼による認知症サポーター研修の講師を務めている。また、ホームには福祉系大学生の実習生の受け入れもされて詳細な報告が記録されている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	急ぎであれば随時電話で報告しているが、通常は「ゆったり」通信の発行や、来所時に報告している。金銭管理は来所時に領収書を見てもらい、サインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見は日頃の面会時や苦情箱、運営推進会議、外部苦情窓口の他に、法人独自に家族アンケート調査を毎年行って意向の把握に努めている。利用者本人には市派遣の介護相談員も受け入れられている。サービス向上への不断の努力がなされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	理解ある法人代表と明るい施設長、その両者を繋ぐ在宅統括師長という同じ法人内の三者の役割分担のバランスがよく、職場としての雰囲気も良い。職員は別室で休憩を取ることが出来、近年は職員の退職・異動はない。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修・学習はポイント制をとり、参加の都度ポイントが溜まって年末には現金支給がされている。研修参加後の報告研修もホーム内でなされている。隔年の海外旅行は働き甲斐ともなっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	医療法人としての病院を中心に法人内施設である訪問看護ステーション・介護老人保健施設・居宅介護支援事業所からの情報や相談機能もあるが、グループホーム協議会支部の付き合いの中からも同業者と情報交換や利用者の紹介などを行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を実践している。本人の状況によっては入居後暫くは家族の方等の来所をお願いするなど利用者が少しでも不安を持たないような配慮をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	経営者・管理者の温かくも明るい気風がよく浸透し、経営理念の実践がなされて、利用者と共に過ごす雰囲気がつくりられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入浴、食事をはじめ、一人ひとりの日常生活のリズムを把握し、大切にしたい利用者本位の支援がある。</p>		<p>利用者の希望や思いは、全職員で共有できる様、引継簿などの活用が望まれる。</p>
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画の作成にあたっては、本人・家族の意向を聞いて本人本位の計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎週・毎月の会議で介護計画を見直ししながら意見交換が行われている。見直し期間は3ヶ月であるが途中で変化があれば随時計画の変更がなされている。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>法人の中核である病院との医療連携契約により入院回避・早期退院などかなり多様な対処が可能になったが、ホーム退居後も本人・家族との関係を大切にし見守りしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来からのかかりつけ医に受診されている利用者もあるが、母体が医療法人で車で約10分の所にあり変更される人もある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	母体法人の病院と医療連携がうまく取れており、ホームでギリギリまで支援する姿勢だが、最終的には医師の判断でという方針が確認されている。家族からは「事前指定書」を受けて、入居時点での意向を把握している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	面会者の記録はプライバシー保護の観点から一人一枚のカード方式に改められ、面会理由欄もある。また管理者の「利用者は人生の先輩である」という意識を全職員が把握し、日々のケアにも活かしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩・外出・昼寝や、近所の馴染みの美容室でのヘアカット等利用者本位の生活パターンの支援がある。近所の美容院へは、行きは職員が同行するが帰りは美容院側でホームへ送ってもらえる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は量・品数とも十分であり、利用者も健康家である。食器類はめいめいの物が使われており、職員もそっと見守り、さりげない介助をしながら会話をし、食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴のタイミングは2人の職員がいればいつでも対応でき、全員の入浴が毎日行われている。起床後・活動後など汗をかいたらシャワー浴を気軽に行い、状況によっては足湯・清拭も行われている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛付・配膳・下膳・食器洗いなどの作業、洗濯物たたみ、生花の水遣り、玄関脇のミニ野菜畑の手入れなどがされている。預かっている小遣いでの買物では、レジの支払いも本人が行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	寺がそばにあり、広い境内は散歩に好適であり、参拝・縁日・花見・紅葉と出掛ける機会が多くある。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーチャイムはあるが、日中は施錠されていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災体制や緊急連絡先は一覧表として事務室壁面に貼付しており、利用者家族の緊急連絡先は医療関係者への注意事項も含めて簡便なファイルになっている。年2回は防災訓練が行なわれ、全職員はBLS(心肺蘇生法)を受講済みである。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は量・質・品数とも十分であり、法人の病院内の栄養士が献立表を毎月チェックしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家改造型の制約は廊下幅・階段などに残るものの、台所・居間・ベランダ・トイレ・風呂等は工夫されて適切に改良されている。よしずの日陰も気持ちが良い。中庭はサンデッキ風になっており、流しそうめんや足湯を行う場所ともなる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分のものが持ち込まれたり自分好みの飾り物があったりして生活感がある。民家改造型ながらも居室の独立性が高く、外気・陽光などの取り入れも工夫されている。「家賃+その他経費」の月額固定費用も相対的に安く感じる。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。